

- ※ 記載の事例は、添付資料の一例を示しているものです。
- ※ この事例以外にて申請を検討されている場合は、事前に都市政策課までご相談ください。

空き家期間が6か月以上であることがわかる書類

1 空き家として不動産売却されているチラシ

(例) 申請する日の6か月以上前の日付が印刷されているチラシ

※ 発行日(またはチラシを受け取った日)が記載されている必要があります。

2 水道、ガスなどの閉栓を証明できる書類

(例) 6か月以上まえに閉栓されたことがわかる証明書

※ 証明書の発行の可否は、各事業者にお問合わせください。

※ 空き家の前所有者宛ての証明書となる場合は、事前に空き家の売買時に提供依頼をしておく必要があります。

3 空き家として誰も居住していなかったことがわかる書類

(例) 空き家が前所有者の所有で、その空き家が6か月以上使用されていないとわかる資料

- | | | | |
|------|----------------------------------|---|------------------------------------------------|
| (例1) | 登記簿謄本
前所有者の空き家の取得時期が記載されていること | + | 前所有者の住民票
空き家以外の住宅で6か月以上前から居住していることがわかること |
| (例2) | 登記簿謄本
前所有者の空き家の取得時期が記載されていること | + | 前所有者による証明(任意様式)
前所有者が6か月以上使用していないことが証明できること |
| (例3) | 登記簿謄本
前所有者の空き家の取得時期が記載されていること | + | 売買契約書など
売買時に空き家であることを確認できる記載のあること |

※ 例2、例3の場合、空き家の期間によっては追加資料の添付が必要となる場合があります。

水回り設備を10年以上更新していないことがわかる書類

1 設備が製造終了してから10年以上経過していることが分かる書類

(例) 製造メーカー、品番がわかる写真と製造終了したことがわかる資料

【イメージ】



製造メーカー
品番

+

製造メーカーのホームページなどから、製造が終了していることがわかるもの

2 明らかに古いことをリフォーム事業者が証明した書類

(例) 設備の写真とリフォーム事業者による証明書

【イメージ】



+

〇〇年以降、汲み取り式トイレは設置されることがなく、現地の設備の状態からも〇〇年以上は経過している。

〇〇工務店 〇〇〇〇